

国公立大 英語認定試験 利用状況一覧

(9/12現在、河合塾調べ)

2021年度の一般選抜における各大学の大学入試英語成績提供システムの参加要件を満たした英語資格・検定試験（以下、英語認定試験）の利用状況をまとめました。

英語認定試験を利用しない大学は、「提出」欄に「×」を付しています。

出願資格：英語認定試験を出願資格として利用する場合「●」、英語認定試験以外の方法でも出願可能な場合は「▲」を付しています。出願の基準が判明している大学は「CEFR基準」欄にCEFRレベルを記載、出願資格ではあるがCEFRレベルは問わない場合は「-」を付しています。

点数化して利用：英語認定試験の提出を必須とし、得点に換算して可否判定に利用する場合「●」を付しています。英語認定試験の提出が任意の場合は「▲」を付しています。「配点」欄には英語認定試験の最大の配点を、「CEFR別得点」欄にはCEFRレベルごとに与えられる得点を記載しています。

備考欄には利用方法の補足などを記載しています。

※掲載内容は変更される可能性があります。最新情報は各大学公表資料でご確認ください。

大学(学部等)	日程	提出	出願資格 CEFR 基準	点数化して利用							備考	
				配点	CEFR別得点							
					C2	C1	B2	B1	A2	A1		
旭川医科(医-医)	前・後		● A2									やむを得ない事情がある場合は、高等学校等による証明書での代替可
旭川医科(医-看護)	前・後		● A1									やむを得ない事情がある場合は、高等学校等による証明書での代替可
小樽商科(昼-数学重視枠)	前		● -									
小樽商科(昼-数学重視枠を除く)	前・後		● -	●								共通テスト英語(200点)を上限に加点
帯広畜産	前・後		● A1									
北見工業	前・後			▲	※							※前期50点、後期40点(未提出は0点)
釧路公立	前・中											調査書等の情報と合わせて可否判定時の資料として活用(提出は任意)
公立千歳科学技術	前・中			●								
公立はこだて未来	前・後	×										
札幌医科	前											利用(詳細未判明)
札幌市立	前		● A2									
名寄市立	前・後											利用(詳細未判明)
北海道	前・後	×										
北海道教育	前・後			▲	40	40	40	40	30	10		共通テスト英語(200~400点)を上限に加点 ※共通テスト英語の配点は学科・専攻により異なる
室蘭工業	前・後			●								
青森県立保健	前・後		● A1	●	30	30	30	20	10	10	0	
青森公立	前		●									成績が提出できない場合は理由書を提出
青森公立	後		●	●	20	20	10	10	5	5	0	成績が提出できない場合は理由書を提出 配点は共通テスト英語200点の場合
弘前	前・後			●	40	40	35	30	25	20	10	配点は共通テスト英語200点の場合
岩手	前・後			●								
岩手県立	前・後	×										
東北	前・後	×										
宮城	前・後			●	50							配点は共通テスト英語200点の場合
宮城教育	前・後		● A1									
秋田	前・後			●	※							※配点は英語全体の満点の2割
秋田県立	前・後			●	50							配点は、共通テスト英語がシステム科学技術150点、生物資源科学100点の場合
秋田公立美術	前・中			▲	50	50	50	40	30	20	10	配点は共通テスト+2次 950点の場合
国際教養	別			▲								共通テスト英語と比較し高得点の方を利用(等級を証明する書類での代替可)
山形(地域教育、医-医)	前・後		● A2									
山形(医-看護)	前・後		● A1									
山形(農)	前		● -									
山形(農)	後		● A2									
山形(人文社会、理、工)	前・後			●								
山形県立保健医療	前											利用(詳細未判明)
山形県立米沢栄養	前・後			●								
会津	前	×										
福島	前・後			●	40	40	40	35	30	25	10	配点は共通テスト英語160点の場合
福島県立医科	前・後			●								
茨城	前・後			●	50	50	50	50	40	25	10	配点は共通テスト英語250点の場合
茨城県立医療	前・後			●	-	※	※	※	20	10	0	配点は共通テスト英語80点の場合 ※B2以上は共通テスト英語を満点とみなす
筑波	前・後			▲	20	20	10	5	0	0	0	
筑波技術	前	×										
宇都宮	前・後			●	50							配点は共通テスト英語250点の場合
群馬	前・後			▲	20	20	20	16	12	8	4	共通テスト英語(200点)を上限に加点
群馬県立県民健康科学	前			▲								共通テスト英語と比較し高得点の方を利用 英検、GTEC、TEAP、TEAP CBTのみ活用する
群馬県立女子(文)	前・後			▲	※							※共通テスト英語の1割程度
群馬県立女子(国際コミュ)	前		● A2	●	※							※共通テスト英語の2割程度
群馬県立女子(国際コミュ)	後		● A2									
高崎経済(地域政策)	前・後			●								
高崎経済(経済)	前・中			▲								2次の総点に加点
前橋工科	前・後			●								
埼玉	前・後		▲ A2									高等学校等による証明書での代替可(いずれも提出できない場合、理由書の提出で出願を認める場合がある)
埼玉県立	前・後			●								
千葉	前・後		● A2	※								※取得スコアによりさらに点数化して2次英語に加える学部あり
千葉県立保健医療	前			●								
お茶の水女子	前・後		● A2									英語認定試験を受験できず出願資格を証明することができない場合には、その理由を申し出ること
電気通信	前・後		● A2									

大学(学部等)	日程	提出	出願資格		点数化して利用							備考	
			CEFR基準	配点	CEFR別得点								
					C2	C1	B2	B1	A2	A1			
東京	前		▲	A2									高等学校等による証明書や成績を提出できない理由書での代替可
東京医科歯科	前・後		●	A2									高等学校等による証明書での代替可
東京外国語	前・後		●	A2									
東京海洋(海洋工)	前・後		●	A1									成績を提出できない場合は、理由書での代替可
東京海洋(海洋工を除く)	前・後		●	A2									2020年度入試の出願要件を満たしている場合も出願資格として認める
東京学芸	前・後				▲	40	40	40	40	30	15	0	配点は共通テスト英語160点の場合
東京芸術(美術)	前		●		40	40	40	40	30	20	10		
東京芸術(音楽)	前		※										※一定のスコア以上で共通テスト英語を満点とみなす(提出は任意)
東京工業	前		●	A2	●	30							英語認定試験は2次で利用(配点は筆記試験120点、英語認定試験30点)
東京都立	前・後				●								英語認定試験は2次で利用
東京農工	前・後		●	A2									英語認定試験を受験できずに出願資格を証明することができない場合、理由書の提出を求める
一橋	前・後		▲	A2									高等学校等による証明書での代替可(いずれも提出できない場合、理由を提出すること)
神奈川県立保健福祉	前・後	×											
横浜国立(経済)	前・後		●	A2									
横浜国立(経営、理工、都市科学(都市社会共生を除く))	前・後		●	A1									
横浜国立(教育)	前		●	A1	●	20%	20%	20%	20%	20%	20%	10%	英語の配点全体に対して20%を上限に点数化
横浜国立(都市科学-都市社会共生)	前・後		●	A1	●	20%	20%	16%	12%	8%	4%	0%	英語の配点全体に対して20%を上限に点数化
横浜国立	前・後												利用(詳細未判明)
横浜市立	前・後												
上越教育	前・後		●	A1									
長岡技術科学	前		●		40	40	40	35	30	25	10		
長岡造形	前・中		▲										
新潟	前・後		●		40	40	40	35	30	25	10		
新潟県立	別												利用(詳細未判明)
新潟県立看護	前・後	×											
富山	前・後		▲		200	200	200	190	-	-	-	-	共通テスト英語と比較し高得点の方を利用
富山県立	前・後	×											
石川県立	前・後		●										
石川県立看護	前・後												利用(詳細未判明)
金沢(人間社会(人文、法、国際)、医薬保健-医)	前		●	A2									高等学校等による証明書や成績を提出できない理由書での代替可
金沢(人間社会(経済、学校教育、地域創造)、理工、医薬保健(医を除く))	前		●	A1									高等学校等による証明書や成績を提出できない理由書での代替可
金沢(文系一括、理系一括)	中				●								
公立小松(国際文化交流)	前・中		●										
公立小松(国際文化交流を除く)	前・中	×											
敦賀市立看護	前・後	×											
福井(国際地域)	前・後		●	A1	●	-	※	※	-	-	-	-	やむを得ない理由で英語認定試験を受験できない場合は、理由書での代替可(その際英語力は調査書により確認) ※C1以上は共通テスト英語を満点とみなす
福井(国際地域を除く)	前・後		●	A1									やむを得ない理由で英語認定試験を受験できない場合は、理由書での代替可(その際英語力は調査書により確認)
福井県立(経済)	前・後		●	A1									共通テスト外国語で「英語」以外の科目を選択した場合は、英語認定試験の受験を必要としない
福井県立(経済を除く)	前・後				▲								「共通テスト英語+英語認定試験」と「共通テスト英語」のうち高得点の方を利用
都留文科(文-英文、文-国際教育)	前・中		●		-	※	※	※	-	-	-	-	※B2以上またはそれに相当する英語の能力を有している場合、共通テスト英語を満点とみなす
都留文科(文-英文、文-国際教育を除く)	前・中	×											
山梨(教育、医-看護)	前・後		●	A1									
山梨(工、生命環境)	前・後		●	A2									
山梨(医-医)	後		●	A2									
山梨県立(国際政策、人間福祉-福祉コミュニティ)	前・後		●	A2									
山梨県立(人間福祉-人間形成、看護)	前・後		●	A1									
公立諏訪東京理科	前・中												利用(詳細未判明)
信州(教育-英語教育)	前・後		●	A2	●	20	20	20	15	9	6	3	
信州(教育-英語教育を除く)	前・後				▲	20	20	20	15	9	6	3	
長野	前・中				●	40							配点は共通テスト英語160点の場合
長野県看護	前・後	×											
長野県立(グローバル)	前	×											
長野県立(グローバル)	中				●		※	※	※	※	-	-	※B1以上を段階的に評価し、共通テスト英語の得点とは別に点数化する
長野県立(健康発達)	前・中	×											
岐阜(医-医)	前・後		●	A2									
岐阜(医-医を除く)	前・後		●										

大学(学部等)	日程	提出	出願資格		点数化して利用							備考		
			CEFR 基準	配点	CEFR別得点									
					C2	C1	B2	B1	A2	A1				
岐阜県立看護	前	×												
岐阜薬科	中			●										
静岡	前・後			●	50	50	40	32	24	16	8		8	配点は英語全体の満点250点の場合
静岡県立	前・中・後			●	※									※共通テスト英語と合わせた英語全体の満点の2割程度とする(看護は共通テスト総点の2割程度)
静岡文化芸術(文化政策)	前・後			●										
静岡文化芸術(デザイン)	前・後		●	A2										
浜松医科	前・後		▲	A2										高等学校等による証明書や成績を提出できない理由書での代替可
愛知教育	前・後			▲	40	40	40	40	25	10	0		0	配点は共通テスト英語250点の場合
愛知県立	前・後			▲										「共通テスト英語+英語認定試験」と「共通テスト英語」のうち高得点の方を利用
愛知県立芸術(美術)	後			●										
愛知県立芸術(音楽)	後	×												
豊橋技術科学	前			●										
名古屋	前・後		▲	A2										高等学校等による証明書や成績を提出できない理由書での代替可
名古屋工業	前・後			●	20	20	20	15	10	10	0		0	配点は共通テスト英語200点の場合
名古屋市立(人文社会-国際文化)	前・後			▲	20	20	20	20	15	10	0		0	「共通テスト英語(リーディング+リスニング)+英語認定試験」と「共通テスト英語(リーディング+リスニング)」のうち高得点の方を利用
名古屋市立(人文社会(国際文化を除く))	前・後			▲	20	20	20	20	15	10	0		0	共通テスト英語(リスニング)と比較し高得点の方を利用
名古屋市立(経済)	前・後			▲	20	20	20	20	15	10	0		0	配点は共通テスト英語80点
名古屋市立(総合生命理)	後			▲	30	30	30	30	30	24	0		0	配点は共通テスト英語120点
名古屋市立(芸術工)	前・後			▲	40	40	32	24	16	8	0		0	配点は共通テスト英語160点
名古屋市立(医)	前			▲	25	25	25	20	15	10	5		5	共通テスト英語(リスニング)と比較し高得点の方を利用
名古屋市立(薬)	中			▲	10	10	10	10	10	8	0		0	配点は共通テスト英語90点
名古屋市立(看護)	前			▲	40	40	40	40	40	40	0		0	高等学校等による証明書での代替可、配点は共通テスト英語160点
三重	前・後			●	10%	10%	10%	—	—	—	—		—	共通テスト外国語で「英語」以外の科目を選択した場合は、英語認定試験の受験を必要としない 共通テスト英語の成績に外付けで加点
三重県立看護	前			●	10	10	10	10	10	10	0		0	配点は共通テスト英語90点の場合
三重県立看護	後			●	20	20	20	20	20	20	0		0	配点は共通テスト英語80点の場合
滋賀	前・後		●	A2										
滋賀医科	前		●	A1										英語認定試験を受験できずに出願資格を証明することができない場合には理由書の提出を求める
滋賀県立	前・後		●	A1										
京都	前・後		▲	A2										高等学校等による証明書での代替可
京都教育(教育-学校-英語)	前・後		●	A1	●	※	※	※	※	※	—		—	※A2以上の場合共通テスト英語に加点
京都教育(教育-学校-英語を除く)	前・後		●	A1										
京都工芸繊維	前・後	×												
京都市立芸術	前・後			▲										「共通テスト英語+英語認定試験」と「共通テスト英語」のうち高得点の方を利用
京都府立	前・後			●										
京都府立医科	前		▲	A2										高等学校等による証明書での代替可
福知山公立	前・後													利用(詳細未判明)
大阪	前		●	A2										大学の示す条件に該当する者は高等学校等による証明書での代替可
大阪教育	前・後			●	※									※英語全体の満点に占める割合を1~2割程度とし加点する
大阪市立	前・後		▲	A2										高等学校等による証明書や成績を提出できない理由書での代替可
大阪府立	前・中・後		▲	A2										高等学校等による証明書での代替可
神戸	前・後		●	A2										
神戸市外国語	前・後			▲										共通テスト英語と比較し高得点の方を利用
神戸市看護	前・後		●	A2	●	—	※	※	—	—	—		—	※C1以上は共通テスト英語を満点とみなす
兵庫教育	前・後			●	50	50	50	40	20	0	0		0	
兵庫県立(国際商経-経済学-経営学、看護、環境人間)	前・後		●	A2										
兵庫県立(国際商経-グローバルビジネス)	前		●	B1	※									※2次でも利用
兵庫県立(工)	前・後													選抜には利用しないが、英語認定試験結果の提出は求める
兵庫県立(理)	中													選抜には利用しないが、英語認定試験結果の提出は求める
兵庫県立(社会情報)	中		●	A2										
奈良教育	前・後		▲	A1										高等学校等による証明書での代替可(いずれも提出できない場合、理由書の提出で出願を認める場合がある)
奈良県立	前・中	×												
奈良県立医科	前・後		▲	A2										調査書に英語の言語運用能力を有する旨の簡明な説明が示されていれば代替可
奈良女子	前・後		▲	A2										高等学校等による証明書や成績を提出できない理由書での代替可
和歌山(観光、システム工)	前・後			▲		※	※	※	※	※	—		—	※A2以上で共通テスト英語の得点を上限に加点する
和歌山(経済、教育)	前・後			▲		※	※	※	※	※	※		※	※A1以上で共通テスト英語の得点を上限に加点する
和歌山県立医科	前・後		●	A2										

大学(学部等)	日程	提出	出願資格		点数化して利用							備考				
			CEFR基準	配点	CEFR別得点											
					C2	C1	B2	B1	A2	A1						
公立鳥取環境	前・後			●												
鳥取(地域)	前・後			●	※											※共通テスト英語の得点に満点の5%程度を上限として加点(共通テスト英語の満点は超えないものとする)
鳥取(工、医-生命科学)	前・後			●	※											※共通テスト英語の満点の2割程度を上限に点数化
鳥取(農-生命環境農、医-保健)	前・後			●	※											※共通テスト英語の満点の1割程度を上限に点数化(農-生命環境農は共通テスト英語の満点は超えないものとする)
鳥取(農-共同獣医)	前		●	A2	※											
鳥取(医-医)	前		●	A2	●											※共通テスト英語の満点の2割程度を上限に点数化
鳥根(医-医)	前		●	A2												
鳥根(医-医を除く)	前・後			●												
鳥根県立(総合政策)																
鳥根県立(総合政策を除く)	前・後			▲												共通テスト英語と比較し高得点の方を利用
岡山	前・後		●	-												英検、GTEC、TOEIC、TOEFL iBTのみ活用する 英語認定試験の成績が提出できない場合、理由書の提出を求める
岡山県立	前・中・後	×														
新見公立	前・中・後	×														
尾道市立(経済情報)	前・後		▲	A2												高等学校等による証明書での代替可
尾道市立(芸術文化)	前・後		▲	A1												高等学校等による証明書での代替可
県立広島	前・後			●												
広島	前・後			●	-	※	※	※	-	-						※B2以上は共通テスト英語を満点とみなす
広島市立(国際)	前・後			●	-	※	※	※	20	0						※B2以上で共通テスト英語を満点とみなす 英語認定試験が受験できない場合、理由書等の提出で代替可(この場合加点なし)
広島市立(情報科学)	前・後			●	25	25	25	25	20	10						5 英語認定試験が受験できない場合、理由書等の提出で代替可(この場合加点なし)
広島市立(芸術)	前・後			▲	20	20	20	20	15	10						5
福山市立	前・後			▲	60%	60%	60%	60%	60%	60%						0% 共通テスト英語の配点に対して左記の割合で点数化、共通テスト英語と比較し高得点の方を利用
山陽小野田市立山口東京理科(工)	前・中		●	A1												
山陽小野田市立山口東京理科(薬)	中		●	A1	●											
下関市立	前・中			▲												「共通テスト英語+英語認定試験」と「共通テスト英語」のうち高得点の方を利用
山口	前・後			●												
山口県立(国際文化-国際文化)	前・後		●	-	●	70	70	70	60	50	35					10 配点は共通テスト英語280点の場合
山口県立(国際文化-国際文化を除く)	前・後		●	-	●	50	50	50	50	40	30					10 配点は共通テスト英語200点の場合
徳島(医-医、歯-歯、薬)	前・後		●	A2												
徳島(医-医、歯-歯、薬を除く)	前・後		●	A1												
鳴門教育	前・後			●												
香川(医-医)	前		●	A2												
香川(医-医を除く)	前・後		●	A1												
香川県立保健医療(保健医療-看護)	前・後		●	A1												
香川県立保健医療(保健医療-臨床検査)	前			●	15	15	15	15	10	5	0					
愛媛(医-医)	前		●	A2												
愛媛(医-医を除く)	前・後		●	A1												
愛媛県立医療技術	前・後		●	A1												
高知	前・後		●	A1												参加試験を受験できなかった場合、高等学校等による証明書での代替可
高知県立	前・後			●	50											配点は共通テスト英語200点の場合
高知工科	前・後			▲												共通テスト英語と比較し高得点の方を利用
北九州市立	前・後			●												
九州	前・後		▲	A2												成績が示せない理由書、高等学校等による証明書での代替可
九州工業	前・後			●												
九州歯科	前			●												利用(詳細未判明)
福岡教育	前・後		●	A1												利用(詳細未判明)
福岡県立	前・後															利用(詳細未判明)
福岡女子	前・後															利用(詳細未判明)
佐賀	前・後			●												共通テスト英語の得点に加点(CEFRの段階に対し係数を設定し得点に乗じたものを加算)
長崎(多文化社会)	前・後		●	B1												
長崎(多文化社会を除く)	前・後		●	A2												
長崎県立	前・後															利用(詳細未判明)
熊本	前・後		●	A1												障害を有するなど英語認定試験を受験できない場合、その事情を確認できる書類等の提出により出願を認める場合あり
熊本県立(文)	前・後			▲	200	200	200	200	150	-	-					共通テスト英語と比較し高得点の方を利用(B2以上は満点とみなす)
熊本県立(総合管理)	前・後			▲	20	20	20	20	10	-	-					共通テスト英語の得点を上限に加点
熊本県立(環境共生)	前・後			▲	30	30	30	30	20	10	-					共通テスト英語の得点を上限に加点
大分	前・後		●	●	20	20	20	20	20	10	0					
大分県立看護科学	前・後			●	40	40	40	40	40	40	-					配点は共通テスト英語160点の場合
宮崎(地域資源創成、教育、工、医-看護)	前・後			●												
宮崎(農)	前・後		●	A1												
宮崎(医-医)	前・後		●	A2												

大学(学部等)	日程	提出	出願資格		点数化して利用						備考	
			CEFR 基準	配点	CEFR別得点							
					C2	C1	B2	B1	A2	A1		
宮崎県立看護	前・後		●									
宮崎公立	前・後		▲	A1								高等学校等による証明書での代替可
鹿児島	前・後				▲							英語認定試験でスコア基準を満たした場合、共通テスト英語(リーディング、リスニングそれぞれ)の成績を次のように扱う。8割以上得点した場合は満点とみなす。8割未満の場合は得点を1.25倍する
鹿屋体育	前				●	40						配点は共通テスト英語160点の場合
沖縄県立看護	前・後		●	A2								
沖縄県立芸術	前・後				●	※						※配点は共通テストの外国語試験の配点の1割
名桜	前・後											出願資格・得点換算等の利用はしないが、調査書等において評価する(提出は任意)
琉球(医-医)	前・後		●	A2								
琉球(医-医を除く)	前・後				●							共通テスト英語と合わせた英語全体の満点の1割を上限として点数化(教育-小学-学校教育は英語全体の満点の2割程度)